

## 2030年のあるべき姿(ビジョン)



沖縄県産野菜を始めとする、カット野菜の製造販売や、原料である野菜の生産活動の強化を行う。沖縄の食糧自給率の向上、沖縄本島・離島の物流問題に向き合い、県内の野菜の消費市場への安定供給を図るべく、BCPを確立し、災害に応じた体制づくりと、物流に頼らない地産地消で持続可能な食農産業への発展(農業振興含む)、農業人材の発掘・育成・「誰でも無理なくできる農業」を定着をしていく。ひいては日本における農業人口の増加を目指し、持続可能な循環型農業を確立していく。また、社会的支援が必要な方の雇用、健康寿命に向けた食生活の推進、人に、社会に、健康になる商品の提供をし続けていく。

## 認証期間において特に注力する活動・取組

取組概要		
経済	沖縄県の持続可能な生産体制の構築の実現	県産野菜への切替により、夏場の供給不足や県外災害による価格高騰の影響を抑え、物流費削減と安定供給を実現する。県内生産への転換で廃棄削減と食料自給率向上を図り、持続可能な流通体制を構築する。
社会	グリーンフィールド健康経営「幸福度も向上誰でも健やかに過ごせる健康づくり」	全従業員がメンタルヘルスへの理解を深め、ストレスチェックや相談窓口、職場環境改善を通じて心の健康維持を図る。外部機関活用も検討し、両立支援の体制を整備。心身の健康促進をテーマに、健康増進に取り組む。
環境	食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践	自社水耕ハウスは国際農業認証「GLOBALG.A.P.」を取得し、安全で持続可能な生産を実践。基準維持には監査員の育成が重要であり、知見を生かして耕作放棄地の再生や環境保全、農業基盤整備にも貢献する。
ガバナンス	全従業員への情報セキュリティ研修実施による内部統制の強化	「守ろう情報、築こう信頼」を掲げ、全従業員を対象に情報セキュリティ研修を計画的に実施する。安全な情報管理と脅威対応力を高め、理解度テストを通じて個人・組織双方のセキュリティリテラシー向上を図る。
地域課題への貢献	グリーンフィールド農業体験「沖縄で作られた野菜を食べよう!」	苗植えや収穫の農業体験を通じ、食育と農家の重要性を伝える。「野菜はいのちをつなぐ」をテーマに子どもたちと意見交換を行い、農業の楽しさへの理解を深め、沖縄の野菜の継承と担い手育成につなげる。 